

3月26日 韓国 豚 口蹄疫(A型)発生 !!

侵入防止対策と健康観察の徹底をお願いします

発生概要

京畿道 金浦市の豚農場(917頭 飼養)

3/26 母豚、離乳豚で水疱、蹄の脱落を認め通報

3/27 口蹄疫A型と確定



京畿道(1件)
①3月26日 金浦(キンポ)市 豚 (A型)

豚の病態

- ・強い水疱病変が発現
- ・感染初期から、唾液や蹄の水疱から非常に多量のウイルスを排せつ



* A型口蹄疫ウイルスの感染実験での症状

<豚の口蹄疫> **牛の100~2,000倍のウイルスを排出**する

感染 → 約10日の潜伏期 → 症状で

症状: 発熱(40.5℃以上)、食欲不振、嗜眠(寝てばかり)

蹄冠、趾間の水疱=跛行(痛くて歩きづらい)、座りがち

鼻、口腔、舌に水疱でき、その後、潰瘍になる

**過去の日本での発生をみると
まず韓国で発生しています!**



2000年 → 2000年

2002年

2010年
2011年 → 2010年

2014年

現在 →

**侵入する可能性
は非常に高い!!**

★牛は口蹄疫に最もかかりやすいです

症状：発熱、流涎（よだれ）、跛行（歩き方の異常）
口、蹄、乳房に水疱→潰瘍
* 潜伏期にも乳牛は乳量減少になることがある

感染
→ 約6日潜伏期
→ 症状

牛の病態

- ・口唇や蹄の趾間に水疱形成
- ・感染初期から、唾液から多量のウイルスを排せつ
- ・発熱・流涎のない個体もいたので注意



A型口蹄疫ウイルスの感染実験での症状

- 牛で水疱は趾間に見られ、**確認が難しく注意が必要**
→ 普段から、口腔内、蹄、全身状態を確認することが重要
- 牛では**1頭のみに着目すると見落とす恐れがある**
→ 流涎する個体が多い、症状が急速に広がる等群としての異状の有無を確認することが重要

「衛生管理区域への病原体持ち込み防止」の再確認

- ✓ 必要のない人を立ち入らせない
- ✓ 洗浄・消毒の徹底（靴、車、物品）
- ✓ 発生国への渡航自粛

<口蹄疫ウイルスに有効な消毒薬>

（pH6以下の酸性、pH9以上のアルカリ性のもの）

酸性：ビルコンやクレンテなどの消毒薬、酢酸、クエン酸
アルカリ性：消石灰、炭酸ナトリウムなど

*** 逆性石鹼（パコマ、アストップ、クリアキル等）アルコールは無効!!**

異状を認めた場合は家畜保健衛生所に連絡してください

中濃家畜保健衛生所 ☎ 0574-25-3111

閉庁時は案内に従い「1」番をプッシュしてくださいつながらない場合は 0574-25-3484
土日・祝日、閉庁時も通報を受け付けます